

成の拡大は考えられないか。
市長 それぞれのクラブの実態調査を行いたいと思っ
ている。その結果を受けて、
クラブの充実を図るために
はどういうことができるか
検討していきたい。

まちづくり協議会につ いて

議員 まちづくり協議会が
平成24年度より市内24地区
で一斉スタートする予定に
なっている。地域担当職員
の業務はどのように想定し
ているのか。

市長 地域担当職員は、ま
ちづくり協議会の会合に参
加し、地域の状況・資源・
課題等を把握し、担当課と
の連絡調整を行う。また、
住民が主体的に地域資源を
活用した地域づくりや地域
課題の解決ができるように、
情報の提供を行う。
将来的には、地域資源を
活用した地域づくり、地域
課題の解決に向けた企画立
案をまちづくり協議会と

もに進め、一方で、地域担
当職員の業務を行う中で経
験したことなどを生かして、
本市の将来に向けて必要な
施策を提案していくという
制度にしたいと考えている。

森岡聰子議員

公の施設の有効活用に ついて

議員 笠岡市民活動支援セ
ンター（旧郵便局跡）が、
旧井笠保健所の建物に移転
した。それまで、周辺地区
の人たちは団体活動の話し
合いの場などとして有効利
用していた。現状と今後の
取り組みについてたずねる。
市長 現在、市役所の会議
室と位置づけている。投票
所や12月までは国勢調査事
務所として使用しており、
今のところ内部利用にとど
めている。
今後の利用については、
市民からの要望もあるので、
どう活用していくか検討し
ていきたいと考えている。

防災対策について

議員 勤務時間中の消防団
活動に対して便宜を図って
いる事業所に消防団協力事
業所表示制度があり、本市
では4事業所が認定されて
いる。地域の安心・安全を
確保するため、この制度の
拡充は図れないか。

市長 今後も引き続き事業
所へ協力をお願いすると
もに、この表示制度を積極
的に推進し、より一層地域
の消防防災力の充実強化に
努めていきたい。

議員 災害時要援護者支援
マニュアルの策定はどうな
っているのか。
総務部長 年内を目安に策
定したいと考えている。



緊急雇用創出事業につ いて

議員 岡山県緊急雇用創出
事業臨時特例基金補助金と
して、市が直接実施する事
業と委託している事業があ
る。実施期間は3年間で、
21年度から23年度までとな
っている。しかし、期間が
終了しても継続しなければ
ならないのではと考えられ
る事業もある。きちんとし
た事業仕分けが必要ではな
いか。現状と今後の取り組
みについてたずねる。

市長 本市では、緊急雇用
事業として27事業、ふるさ
と雇用再生特別基金事業と
して7事業の補助金割り当
て内示をいただいております。
随時、計画に基づいて事業
展開を行っている。

これらの事業のうち、事
業期間内で目的を達成する
もの、事業期間以降も継続
しなければならない事業な
どもあるので、しっかり仕
分けしていきたいと考えて
いる。

奥野泰久議員

広島県「瀬戸内海」の道 一兆円構想」について

議員 この構想に本市とし
ても積極的な連携を図る考
えはないか。

市長 瀬戸内海は、点在す
る自然や歴史、食文化など
の地域資源は豊かであり、
それらを結びつけて観光振
興を図るため「瀬戸内 海
の道構想」の策定を広島県
が進めていると聞いている。

本市は、美しい自然、文
化、伝統を数多く有してい
る。この構想が本格化され
れば、本市としてもメリッ
トがあると期待している。
しかし、どのような連携が
とれるかについては、今後
この構想の具体的な内容を
見極めながら、本市の魅力
を最大限引き出す方策を検
討していきたい。

総合計画案ないしは予
算案提出時に、財政指
標の提出について